

第26回

Web Star Vietnam



ウェブスターベトナムは東京都中央区に本社を置くウェブスタージャパンの100%現地法人として2004年8月にホーチミン市に設立されました。主な事業内容はWEBサイトの制作・マネージメント、3DCGの制作、グラフィックデザイン、モバイルアプリケーションの開発で、オフィスはホーチミン市の中心部であるグエンフエ通りに位置しています。今回はウェブスターベトナムの現地法人代表である、舟橋社長にお話をお伺いしてきました。

●業務内容

Webサイト制作&SEO対策、3DCG制作
グラフィックデザイン制作、モバイルアプリケーション開発

●ベトナム事務所

16th, Bitexco Bldg, 19-25 Nguyen Hue, Dist.1, HCMC
Tel: (+84-8) 3821 8260 Fax: (+84-8) 3821 0621
<http://www.webstarvietnam.com>

ベトナム進出の経緯を教えてくださいませんか？

弊社はウェブスタージャパンの100%出資による現地法人ですが、実は弊社グループの始まりはタイで弊社代表が2000年に立ち上げたウェブスタードットコムタイランドという会社になります。ウェブスタードットコムタイランド社では、タイ人エンジニアを活用して日本向けのオフショア開発を行っていたのですが、順調に業務が拡大したため日本へ本社を移管し、その後2004年にベトナムに現地法人として現在のウェブスターベトナムを設立しました。

ベトナムへ進出した最も大きな理由はやはり人件費の問題が最も大きいですね。先ほども申し上げましたように、弊社はもともとタイで立ち上げられましたので、タイ人のエンジニアを活用して事業を拡大してきましたが、タイの人件費が急激に高くなったことで競争力がなくなってきましたので、よりコストメリットのある国としてベトナムを選びました。実際、弊社の場合で言いますとタイ人エンジニアの人件費はベトナムの約3倍になっていますので、タイ人エンジニアを一人雇う人件費で3人のベトナム人エンジニアを採用することが出来ます。

ウェブスターベトナムのサービスについて教えてくださいませんか？

弊社の主な事業内容にはWEBサイトの制作とマネージメント、3DCGの制作、グラフィックデザイン、モバイルアプリケーション開発の4つがあります。ウェブスターベトナムは設立当初はホームページ作成や3Dパース図の作成など100%の業務が日本本社からの仕事でしたが、日本からの受注は波が激しい為、現地での業務受注を目指して組織変更を行い、現在は70~80%が現地で受注した仕事で、ベトナムに進出されている日系企業様のホームページの作成とマネージメントが、中心となっております。

ホームページのマネージメントとはどのようなサービスになりますか？

実はホームページというのはただ作ればいいと言うものではなくて、作成した後のマネージメントが非常に重要です。

ホームページを作成する時には当然、お客様の要望をお聞きして、企業としてホームページで何を発信したいのかをよく理解した上で作成をするのですが、ホームページ完成後に実際にその目的が効率よく達成できているかをフォローし、目標達成に向けて常にホームページを改善していくのがウェブマネージメントになります。単にお客様からの要望によってホームページを修正するだけではなく、常にホームページのアクセスを解析し、どのページが重要で、どのページ

が不必要なのか、どのように改善すればより効率化が図れるのかを検討し、最も適切な対応をお客様にご提案するのが我々の目指すサービスになります。

ベトナムではまだホームページを十分に活用されていらっしゃる企業様というのは少ないのですが、ようやく大手企業様を中心にホームページのマネージメントの部分にも注力される企業様も出てきましたので、これから更にこういったサービスの需要は増えるのではないかと考えています。

ベトナムのホームページは、色々な情報が入りすぎて見難いような印象がありますが、実際如何でしょうか？

ベトナムのホームページのデザインと日本のデザインはやはり全然違いますね。

特に若者向けのサイトは、様々な色を使ったり、動きを入れたり本当に色々なものを使ったサイトが人気が高いですが、ある程度の年齢層になるともうちょっと落ち着いた洒落た感じのほうが好まれたりします。

デザインについてはどのような層をターゲットにされるかによって変わってくるかと思います。弊社ではお客様のご要望とターゲット層をお聞きした上で、ターゲット層に最も適したデザインを採用いたしております。

ーベトナムの通信環境は如何でしょうか？

私は2008年からベトナムに赴任していますが、その頃から比べてスピードも速くなりましたし、3Gもありますし、かなり改善されていると思います。通信のインフラ整備が特に国内の通信に関しては殆ど問題ないのではないのでしょうか。

ただ、海外につながっている通信設備に関してはまだ問題ないとはまでは言える状態にはなっていないかと思しますので、この点については早期に改善してもらいたいと期待しています。

私の印象だとiPhoneがベトナムで正規に販売された頃から、通信インフラがかなり整備されてきたような気がします。

ースマートフォンがベトナムでも普及してきていますが、ホームページというのはPC向けとスマートフォン向けでは全く別のものを作成されるのでしょうか？

そうですね。基本的にはPC向けのホームページとスマートフォン向けのホームページというの



はディスプレイの大きさや幅が違いますのでもう一度作り直さないといけないですね。

現在の日本ですとホームページ作成時には携帯向けサイトを作成するのが当たり前といった状況ですが、ベトナムではまだそこまでは行っていないですね。

ただ、最近は弊社のお客さまでも携帯からのアクセスを意識したホームページを作成されていらっしゃることも出てきましたので、今後は携帯用のサイトへのシフトが進むのではないかと考えています。

ー御社のサービス価格というのは日本と比べて如何ですか？

今は日本も過当競争で価格が下がってきていますが、それでも弊社が現地で提供しているサービス価格は特に大規模な場合は日本の1/10位ではないでしょうか。

ホームページの価格というのは予約機能や決済機能といった機能が沢山つくほど料金が上がるのですが、最もシンプルな会社案内タイプのホームページですと5ページくらいで約800万VNDくらいで作成いたしております。またサイトの管理コンサルティングなどもご予算、ニーズに応じて対応させていただいております。

ーよくSEO対策というのを聞くのですが、御社でも対応されているのでしょうか？

そうですね。弊社でもSEO対策は対応しております。SEOというのは検索エンジンの仕組みを理解して、検索されたキーワードによって上位に表示されるようにする仕組みなのですが、特に大切なのはどのキーワードを重視するのか、どういった情報を求めている人に見てもらいたいかを見極めるのが非常に重要で、企業側のターゲットを良く考えてアドバイスを行うのをSEMというのですが、それもウェブマネジメントの一部だと考えています。

インターネットというのは、誰がいつどのページ

に何分間アクセスして次にどこへ行ったかといった情報が簡単に分かりますので、その情報を分析し本当に必要なページはどのページか不必要なページはどのページかといったこともご提案することが出来るようになります。

最近では、企業にホームページがあるのは当たり前前の時代ですが、実はただ漠然とホームページを作られただけで終わっていらっしゃる企業様というのも結構多いのです。

実際に、作成時にはより安価なローカル企業に依頼したものの、その後の使い勝手の悪さ(例えば文字の修正さえ困難だったり)や意図や希望と異なるものが納品されてしまったため困りになられている企業様からのご相談も沢山承っております。

そういった企業様に向けて、弊社ではより有効にホームページを活用していただき、事業拡大のツールとして役立てていただけるように経験と実績のある日系企業ならではのサポートをさせていただきます。

インターネットは、アクセス数などの効果がすぐに目に見える形で現れますので、非常に分かりやすいですし、弊社のお客様からも弊社のサポートによってお問い合わせが増えましたといったお話や最初からお願いすれば良かったなどと反省されているお話を頂くこともよくあります。

ホームページに関連してお困りになられている

ことがあれば、些細なことでも構わないので是非お気軽にご相談いただきたいと思います。

より有効活用できるホームページマネジメントのご協力・提案を規模問わず対応させていただき、インターネット利用者の方々にとっても得たい情報が手軽に探せるネット情報の充実した社会の実現に貢献することが弊社の役割でもあると考えております。

ー今後の展開については如何でしょうか？

弊社は現在ホーチミン市を中心に活動しておりますが、今後はハノイへの展開や近隣アジア諸国への展開も考えております。

また、サービス業関連のお客様だけではなく、現地でのビジネスをお考えの製造業のお客様にもサービスをご提供して行きたいと考えています。また、事業の拡大も視野に入れて今後外注企業も活用できるように弊社社員のマネジメントスキルを高めて、マネージング、ディレクションを専門とする企業になりたいと考えています。そのためには、協力してくれる外注先が必要になりますので、可能性のあるローカル企業の育成にも力を入れていきたいと考えています。

ーありがとうございました。